

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	成人歯科検診事業	事業番号	011-180
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度				令和7年度		
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算		
		事業費（a）		5,595		4,550		5,689		4,260		4,275	
		国支出金		514		526		531		445		407	
		府支出金		0		0		0		0		0	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他（ ）		0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0	
		一般財源		5,081		4,024		5,158		3,815		3,868	
14	人件費（b）		1,540		1,530		1,490		1,490		1,560		
15	年間経費（c）=(a)+(b)		7,135		6,080		7,179		5,750		5,835		
事業費の内訳												(単位：千円)	
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源		
		需用費	R6	決算	153	153		R6	決算				
			R7	予算	153	153		R7	予算				
		役務費	R6	決算	35	35		R6	決算				
			R7	予算	97	97		R7	予算				
		委託料	R6	決算	4,072	3,627		R6	決算				
			R7	予算	4,025	3,618		R7	予算				
			R6	決算				R6	決算				
			R7	予算				R7	予算				
			R6	決算				R6	決算				
			R7	予算				R7	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	区 分			単位	令和5年度
	①	成人歯科検診受診者数			人
	②	上記①にかかる年間経費			千円
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	歯周病予防は全身の健康にも影響し、健康寿命の延伸にもつながることから、本市では、国が示す20、30、40、50、60、70歳に加え、歯周病の早期発見の機会を増加させるために25、35歳を追加している。また、加齢による口腔機能の低下を予防するために、71歳以上の受診者に対してオーラルフレイルに関する口腔機能のチェックを含んだ検診を実施している。 受診者数の減少により、単位当たりの経費が増加しており、受診者数増に向けて、検診の必要性について啓発、成人歯科検診の受診勧奨など、更なる取組が必要である。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	全身の健康と口腔の健康の関連性について科学的根拠が示されていることや、国の動向として生涯にわたる歯科検診の実施に向けた準備が進められていること、生涯にわたる歯や口腔の健康が社会生活の質の向上に寄与することを踏まえると、本事業を推進することが不可欠である。 う蝕や歯周病、口腔機能チェックも含めた検診を行うことは、口腔内疾患の早期発見、重症化予防につながる。これらのことから、歯科検診は心身の健康の保持増進、生活の質の向上に重要な役割を果たし、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したものと考える。